

□ 要請番号 (JL23922B13)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ホンジュラス	G182 小学校教育	20～45歳のみ	グループ型	新規	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

フランシスコ・モラサン県教育事務所

3) 任地 (フランシスコ・モラサン県サンタ・ルシア市) JICA事務所の所在地 (テグシガルパ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

サンタ・ルシア市は首都テグシガルパ近郊の観光地としても知られており、人口は約1.6万人。フランシスコ・モラサン県教育事務所は、県内28市の基礎教育にかかる政策・予算・人事の管理を行っている機関で、「財務」「人材能力」「調達」「教育サービス」「企画」「カリキュラム・評価」「教育制度」の7つの局から成る。同事務所には120名のスタッフが在籍しており、教員研修を担当する「カリキュラム・評価局」には5名のスタッフが配属されている。政府からの予算は人件費のみで、教員研修等の活動のための安定的な予算は確保されていない。同市には現在、基礎教育第1、2サイクル(日本の小学校課程に相当)を擁する公立学校が11校登録されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国では教員の不足に加え、不十分な教育カリキュラムや教材の質が低いことなどにより、教育の質が十分でない状態が続いている。特に、算数分野においては、教員自身が苦手としていたり、授業を実施するために適した知識を持っていない状況が続いており、その改善が重要な課題となっている。これまで、JICAの技術協力プロジェクト「算数/数学指導力向上プロジェクト(PROMETAM)」が計3回にわたって実施され、算数・数学の基礎教育の強化を目指し、教材の作成・改訂、新規教員育成、現職教員研修などが行われた。プロジェクト終了後も算数教育の現場レベルにおいて、隊員による協力活動を行ってきている。同県では過去3名の隊員が活動してきているが、引き続きの協力を求めて本要請が出された。同市への派遣はこれが初めてとなる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

教育ネットワーク(規模に応じて1～2つを担当)を活動の基盤として、各ネットワークの中核教師と共に、ネットワークから選定する活動校(1～2校)にて以下の活動を行う。

①教員に対し、算数授業の質向上のための指導技術に関する助言とサポートを行う。②現職教員を対象に実施する算数教育に関する各種研修会の企画・実施への協力、研修会における教員への助言、モニタリングのサポートを行う。③類似職種の他の隊員と連携して、算数授業改善に向けた副教材作成や教員研修等の企画・実施への協力を行う。

※教育ネットワーク:地域ごとに組織された、3～10校からなる学校のネットワーク。教科毎に分科会を形成し、指導法の向上などを図っている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホワイトボード、事務用机、プリンター、プロジェクター(学校による)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚：県教育事務所カリキュラム・評価局スタッフ(30～50代)、市教育事務所スタッフ(30～50代)
活動対象者：活動校校長(40～50代)、小学校教員(20～50代)、生徒(小学校1～6年生)
※活動するネットワークや活動校は、事前にホンジュラス事務所と県・市教育事務所との協議により決定する。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖湿潤気候) 気温：(15～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

原則ホームステイとする。但し、現地事情により一人暮らしとなる可能性もある。